

令和7年度 北陸農政局農業農村整備事業等評価(国営事業)に係る技術検討会(第2回)  
議事録(国営事後評価「庄川左岸地区」)

日 時：令和7年7月9日(水)9:30~12:00

場 所：金沢広坂合同庁舎 共用第会議室(web併用)

委 員：上澤 聖子 一般社団法人 朝日町観光協会(web)

瀧本 裕士 石川県立大学 教授(web)

根岸 睦人 新潟大学 准教授(web)

浜野 剛 富山新聞社 報道局担当局長(web)

松本 恵子 甲武信ユネスコエコパーク推進協議会 監事(欠席)

**【質問・意見】**

質問・意見なし

**【国営事後評価「庄川左岸地区」 技術検討会の意見】**

本事業及び関連事業により、排水路や洪水調整池の新設等により下流への洪水流出量の調整や排水先をより排水能力の高い河川へ流域変更できる排水管理システムを構築したことで、地区内の排水機能は回復し湛水被害が軽減され、農地や農業用施設の被害軽減のみならず、地域住民が安心して生活できる環境の提供にも寄与している。

湛水被害が軽減したことで、農地や農業用施設の見回りや修繕などの負担が減少し労働時間が節減されており、営農者の生産意欲向上、経営規模の拡大が進んでいる。また、水田畑利用によりたまねぎが導入され「雪たまねぎ」としてブランド化が進められるなど農業生産性の向上や農業経営安定化に寄与している。

一方、農業従事者等は減少傾向にあり、担い手の確保にあたっては、地域内のみならずU・Iターン就農者の確保等、関係機関と連携した取組が望まれる。

なお、今後は本事業及び関連事業により整備された農業水利施設を関係機関が連携し計画的に補修・更新することで、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図りながら地域の継続的な営農が可能となるよう適切な維持管理が行われることが重要である。

以上